



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 9, 85-87
Issue Date	1983-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/25629
Type	other
File Information	9_P85-87.pdf



研 究 室 報

講 義 題 目 (昭 和 5 7 年 度)

学 部		
独 語 学 概 論		塩 谷 饒
独 文 学 史 概 説		青 柳 謙 二
独 語 学 I	言語研究の基本問題	植 木 迪 子
独 語 学 II	Probleme einer kontrastiven Landeskunde (前 期)	H. Wunderlich
独 文 学 II	Lektürekurs für Anfänger (前 期)	R. Blesch
	Kleist's „Die Marquise von O.“ (後 期)	T. Beckmann
独 文 学 演 習 (1)	Hegels „Phänomenologie des Geistes“ (前 期)	R. Blesch
	Nietzsches „Also sprach Zarathustra“ (後 期)	T. Beckmann
独 文 学 演 習 (2)	Literarische Hermeneutik II (前 期)	R. Blesch
	Probleme der Dramaturgie (後 期)	T. Beckmann
大 学 院		
独 語 学 演 習 (1)	Deutsche Fabel	塩 谷 饒
独 語 学 演 習 (2)	蘭独比較文法	塩 谷 饒
独 語 学 演 習	Valenz 理論の諸問題	植 木 迪 子
独 語 学 特 殊 講 義	言語研究の基本問題	植 木 迪 子
独 文 学 特 殊 講 義	19世紀リアリズム文学	渋 谷 寿 一
独 文 学 演 習 (1)	Einige moderne Erzählungen und deren Interpretation	青 柳 謙 二
独 文 学 演 習 (2)	Methodenprobleme der deutschen Literaturwissenschaft	青 柳 謙 二
独 文 学 演 習 (3)	Kolloquium für Studenten des (前 期) Magister - und Doktorkurses (後 期)	R. Blesch T. Beckmann

昭和56年度論文題目

卒業論文

- 高橋 修 ヘッセの „Romantische Lieder“ (『ロマン的な歌』) に関する一考察
- 朝日教之 „Ermittlung“ (追究) について
- 大塚和也 「ブラムビルラ王女」 — E. T. A. ホフマン

修士論文

- 瀬野文教 Schillers „Wallenstein“, von einem wirkungsästhetischen Gesichtspunkt aus betrachtet
- 岸川良蔵 Eine Betrachtung über die mhd. „daz-Sätze“ im „Gregorius“

研究室行事記録

- ◎ 昭和57年2月12日に、昭和56年度卒業論文・修士論文発表会が、独文学研究室で行なわれた。
- ◎ 昭和57年には、下記の講演会が文学部第一会議室で開かれた。
- 9月16日
Dieter Wunderlich 教授 (デュッセルドルフ大学) : Lokale Präpositionen und Präfixverben
 - 10月3日
Helmut Kreuzer 教授 (ジーゲン大学) : Literaturverfilmung の問題 — Th. Fontane の ≪ Effi Briest ≫
- ◎ また、昭和57年は、次の2つの研究会が百年記念館で開かれた。
- 1月23日
佐藤俊一 : 「視点」について
 - 9月26日
佐藤修子 : 池上嘉彦『「する」と「なる」の言語学』について
- ◎ なお、Rainer Blesch, Horst Wunderlich 両氏は、7月末日をもって外国人教師としての任期を終え帰国され、新たに8月1日付で Till Beckmann 氏が着任された。

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生(学生も含む)ならびにその趣旨に賛同する者によって構成される。
5. 本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。
6. 本会は1名の会長と若干名の幹事をおく、幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
8. 本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

会 員 名 簿

青柳 謙二	伊藤 智	伊藤 祐紀子	石川 克知
石橋 道大	岩井 洋	岩田 聰	植木 迪子
梅津 真	江口 豊	小沢 幸夫	加藤 寛蔵
川島 淳夫	川東 雅樹	○岸川 良蔵	佐藤 厚
佐藤 修子	佐藤 俊一	◎塩谷 鏡	神 久聰
鈴木 将史	瀬川 修二	瀬野 文教	高橋 修
高橋 吉文	○田中 剛	田中 俊明	対馬 晃
寺田 龍男	西川 智之	藤本 純子	三浦 国泰
○森田 一平	山田 恵子	山田 善久	渡辺 千枝子

◎ 会 長

○ 幹 事